

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年 4月 1日

【評価実施概要】

事業所番号	2970102477
法人名	医療法人新仁会
事業所名	春日グループホーム雪・月・花
所在地	奈良県奈良市白毫寺町900 1 (電話)0742 20 7227
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内
訪問調査日	平成21年3月27日

【情報提供票より】(21年3月17日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年 1月 19日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	19 人	常勤	19人, 非常勤 6人, 常勤換算 22人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋2階建て一部平屋造り		
	2階建ての	1階	~ 2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	15,750 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(300,000 円)	有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,890 円	

(4) 利用者の概要(3月17日現在)

利用者人数	27 名	男性	5 名	女性	22 名
要介護1	3 名	要介護2	6 名		
要介護3	11 名	要介護4	7 名		
要介護5	名		要支援2	名	
年齢	平均 87.3 歳	最低	78 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	(医)新仁会 奈良春日病院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

奈良春日奥山を間近にみるのどかな郊外で、かつ旧市街地と高校に隣接して、3ユニットでありながら、親しみやすいたたずまいの建物です。すぐ近くに、法人の病院があり、常勤者を中心にしたスタッフ体制の下に、各ユニットがそれぞれの「家風」をもって、入居者はそれぞれのペースに合わせたケアを受けて、安心して過ごされています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	地域との交流・穏やかで安らぎのある暮らしを理念、指針に盛り込まれている他、災害に備え、食料等の備蓄についても各ユニット、全体での検討を経て、災害対策に反映されています。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者、ユニット長、各スタッフが、自己評価・外部評価の意義を理解して、自己評価に取り組み、改善への契機とされています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議では、外部評価の結果や取り組み状況を報告し、評価結果を踏まえ地域防災について自治会との協力等について検討されています。また、入居者の状況や事業計画なども報告し、様々な立場から意見交換を行い、サービスの向上に活かされています。尚、今後はさらなるサービスの質の向上を図るため、地域に開かれたサービスとなるよう、運営推進会議は2ヶ月に1回開催されることを期待します。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の面会時に入居者の日々の生活ぶりや健康状態を直接報告するほか、ホームの広報紙、電話、携帯メールで写真・動画を配信したり、法人のホームページからも情報提供されています。また、家族とのコミュニケーション作りに留意され、直接意見を出してもらえよう雰囲気作りに努められています。家族からの意見は、速やかに責任者に報告して対応し、運営に反映されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会に入会し、自治会や校区の行事、毎月の「ふれあいサロン」に定期的に参加するなど地域と積極的に交流されています。また、ホームのイベントに参加してもらおう地域への声かけもされています。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域との交流、穏やかで安らぎのある暮らしを理念、指針に盛り込まれている他、入居者の生活の質の向上、個々の入居者のペースを大切に生活を支えるという理念を作られています。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念をホーム内に掲示し、カンファレンスや会議、日常の業務の中で管理者、スタッフで確認し合う努力をされています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に入会し、自治会や校区の行事、毎月の「ふれあいサロン」に定期的に参加するなど地域と積極的に交流されています。また、ホームのイベントに参加してもらうよう地域への声かけもされています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、ユニット長、各スタッフが、自己評価・外部評価の意義を理解して、自己評価に取り組まれています。前回の外部評価での課題については、改善に向けて努力されています。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、家族代表、自治会代表、地域包括担当者、市担当者が参加し、年1回開催されています。会議では、外部評価の結果や取り組み状況を報告し、評価結果を踏まえ地域防災について自治会との協力等について検討されています。また、入居者の状況や事業計画なども報告し、様々な立場から意見交換を行い、サービスの向上に活かされています。		今後はさらなるサービスの質の向上を図るため、地域に開かれたサービスとなるよう、運営推進会議は2ヶ月に1回開催されることを期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホームの管理者が市の担当課に出向く機会をつくる他、市の担当者と連絡を密にとり、情報交換しながらサービスの向上に取り組まれています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族の面会時に入居者の日々の生活ぶりや健康状態を直接報告するほか、ホームの広報紙、電話、携帯メールで写真・動画を配信したり、法人のホームページからも情報提供されています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族とのコミュニケーション作りに留意され、直接意見を出してもらえる雰囲気作りに努められています。家族からの意見は、速やかに責任者に報告して対応し、運営に反映されています。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの関係を重視し、スタッフの異動は必要最小限に行うこととされ、退職においては、入居者が納得できるよう理由を説明し、入居者へのダメージを極力少なくするよう努力されています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホーム内外で開催される研修に積極的に参加されています。研修に参加したスタッフによる伝達研修などの取り組みもされています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は近くのホームとの交流の機会を持ち、今後は、別地域のグループホームが複数で取り組んでいる勉強会へのスタッフの参加を予定されています。		今後は、管理者・スタッフともにホームの相互訪問や見学会等を実施し、より多くのホームと交流されることを望みます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居者の自宅での生活を理解し、馴染みの関係を作るためにスタッフが自宅を訪問されています。、ホームに持参する家具などを家族と一緒に相談するなど、関係作りに努力されています。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者は人生の先輩であるという考えをスタッフが共有し、普段から入居者に知識や経験を教えてもらい、家族や孫のように関わる場面を作りながら、互いに共感し、支えあう関係を築く努力をされています。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者の希望や意向は、日々の会話や表情から自然な形で導き出し、カルテの情報も参考にしながら把握されています。意思疎通が困難な方には、入居者に寄り添い、家族とも相談しながら本人本位に検討するよう努力されています。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居者の日頃の状況、家族からの情報や要望を持ち寄り、医師、薬剤師、スタッフなどの関係者で検討した結果を介護計画の作成に反映されています。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は定期的に見直しされています。入居者の状態変化や状況、家族・本人の要望に応じて、期間にとられず、本人、家族、必要な関係者と話し合い、臨機応変に介護計画を見直されています。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者、家族の希望・状況に応じて、通院や買い物、帰宅支援等柔軟に対応されています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者の希望に沿って、在宅時のかかりつけ医の受診の他、協力医療機関での受診をされています。入居者・家族の希望により、受診にスタッフが同行する等の支援をされています。協力医療機関とは、適切な医療を受けられるよう24時間体制の連携をとられています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りの指針を定め、入居契約時に説明を行い、本人・家族の意向を確認されています。また、入居者の状態変化に合わせ、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行いながら、スタッフ全員で方針を共有されています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録等は、各ユニットの事務所で管理されています。スタッフは、入居者の誇りやプライバシー確保の大切さを理解し、個々を尊重した声かけや対応をされています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	スタッフは、入居者一人ひとりの体調に配慮しながら、本人の意向や希望に沿った柔軟な支援をされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の能力に応じて、調理、配膳、下膳を共に行い、スタッフと入居者が同じ食事をとりながら楽しく食事ができるよう支援されています。また、入居者の希望や提案を受けて、ユニット独自のメニューや鍋物等を楽しむ機会を持たれています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は隔日に実施されていますが、入居者のその日の気分や体調に合わせて、入浴時間や入浴日を変える等、柔軟に対応されています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常的な食事の準備や片付けの手伝い、洗濯物干しや洗濯物畳み等の家事のほかに、自家菜園の畑仕事、趣味の作品作りや合同作品作成など、入居者の経験や知恵を発揮する場面を作り、役割、楽しみごと、気晴らしの支援をされています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気、本人の気分や希望に応じて、季節を肌で感じてもらい、心身の活性につながるようホームの周辺への散歩、家族との外出、地域の催しへの外出等の支援をされています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠されておらず、スタッフの見守りや声かけにより、入居者の自由な暮らしを支援されています。		各ユニットの出入り口には鳴り物が付けられており、人の出入りがわかるようになっていますが、今後さらに入居者の自由な暮らしを支援するため、鳴り物の音に頼らないケアを検討されることを期待します。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災対策は消防署の協力の下で定期的な避難訓練を実施し、直通電話も設置されています。地域の協力体制については、自治会にも協力を呼びかけられています。備蓄については、当面の飲料水や食品を確保されています。		災害発生時に備えて緊急避難用具の設置を検討されていますので、実現を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取状況を記録し、スタッフが情報を共有しながら入居者の状態に応じた支援をされています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者の状態に合わせ、テレビのトーンを調節したり、カーテンの開閉により、光の強さを調節する等配慮されています。ユニットによってはリビングダイニングにコタツを置いたり、季節に合わせた装飾を行う等、自分の住んでいる家だという意識を高め、居心地よく過ごせるよう工夫されています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室に入居者それぞれ馴染みの家具を持ち込んだり、家族との思い出の物品を飾る等、居心地の良さに配慮されています。		